

様式第2号（第5条関係）

平成28年 2月29日

出張報告書

栗山町議会議長 鶴川和彦様

栗山町議会議員 佐藤則男 

このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成28年 / 月24日 ~ 平成28年 / 月27日まで
- 2 旅 行 先 東京都千代田区
福岡市博多区
- 3 目 的 自治体議会議員ネットワーク研修会 地方議員研究会講習会
- 4 関係書類 別紙のとおり



日 時	平成28年 / 月 24日(日) 13:30 ~ 16:30
視 察 先	中央大学駿河台記念館5F・510号室
調査事項	みんなで考える議員の資質向上策
対 応 者	法政大学 法学部教授 廣瀬克哉氏 山梨学院大学法学部教授 江藤俊昭氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	「みんなで考える議員の資質向上策」について 第1部 基調講演 山梨学院大学法学部教授 江藤俊昭氏による「議員の資質向上、なぜ必要、どんなことが可能、住民自治の根幹としての議会を作動させる」 市民教育、主権者教育の議論が盛んに行われていたが結論を先取りする点の2点が大事。①学校教育、はちつくりにかかわること(少年議会、若者議会、大学生と議員が意見交換する学生議会)政治や行政への参加による実感ある市民教育を進めること。年齢幅の広い教育を進める。②住民自治の根幹としての議会認識し作動させること(首長だけが住民自治の主役ではなく、二元的代表制の作動の重要性を住民が認識すること)これらを行なう事で地方政治の負の連鎖(低投票率、無投票当選者率)からの脱局を図る機会としたい。テーマを設定し若い世代と地域の大人とを結びつけ自由な議論を進めるファシリテーターの役割を議員が担う。若い世代は地域の良さを知るとともに議会、議員を知るこのことで地域をもっと良く知り政策提言を行なえる。議会改革は

市民教育の役割を担える。行政への住民参加でも
議会への住民参加でも年代を越えたさまざまな
住民参加は市民教育にとって重要である。

地方議会改革は住民福祉の向上に役立つとともに
地域民主主義を充実させていると思う。

第2部 ワールドカフェ形式でみんなで議員の資質向上
策について考える(8組のテーブルに1人ずつ分かれ
良い議員、悪い議員について話し合い発表した)

市民感覚を忘すれてしまう。財政能力に乏しい
市民の声を聞き政策提言をする能力が大事など
さまざまな意見があった。

第3部 廣瀬頼克哉氏(法政大学法学部教授)
の講演があり、今こそ必要な人間的資質の強化
コミュニケーション能力、責任感、行動力、実行力
向上心、探求心が重要資質であり

今後 議会をどう変えていくか議員それぞれの
特性を活かしチーム議会として市民が
みれる議員の評価(通知表)議会の見える化が
大事である。

議員としての資質を研ぎチーム議会として
年代を越えたさまざまな住民参加の議会
を目指します

日 時	平成 28 年 / 月 25 日 14 : 00 ~ 16 : 30
視 察 先	福岡県 博多タタリマレンス駅ビル
調査事項	議会基本条例ができるまで
対 応 者	高橋伸介
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	議会基本条例を設立させる意義であるか、 相変わらず住民の根強い議会不信があり それをふしよくするためには議会改革が必要である 一つは議員定数を減らしたり、議員報酬 の削減などによる経費節減による議会改革であ れもう一つは住民の多様な意見を集約しそれを 議会に反映することにより住民から付託を受けた 議会としてより役割を果たすための審議の充実 機能強化による議会改革である。 私も議員になる前に「議員は選挙の時だけ一生 懸命政策を語るけど当選するとそれっきり」とか 「議員定数が多い・議員報酬が高い」とか「議会と いうところは何をしているところがよくわからない」 とよく聞いた。以上の事柄を無くすために定めた 条例が議会基本条例だと思う。 「議会基本条例とは、議会の活性化と充実のために 議会運営に関する事項及び情報公開並びに 住民参加を基本とすることを定めた条例」とのこと に強く刻み付けたい。栗山町は、以前から 議会改革を継続し行うことに、より積み重ねたことを

将来にわたっても持続させるとともに、さらなる議会改革を継続するために条例として改革の理念と成果を制度化したものである。

今回は枚方市の議会基本条例が教材であったが、あまり難しいことは書いていないような気がする。例えば、96条第2項が栗山町に比べて簡単なものには驚いた。いずれにしても議会基本条例を定めても何もしないとか、議会基本条例は議会改革をするための一つの手段であり、目的ではないと言われた、その通りだと思った。

日 時	平成28年 / 月26日 10 : 00 ~ 12 : 30
視 察 先	博タリファレンス駅ビル
調査事項	地域ブランドの創出と展開
対 応 者	牧瀬 稔 (一般財団法人地域開発研究所)
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	この研修を受講する前に地域ブランドとして頭に浮かんだのが「タ張メロン」である、その他にも「タ張国際映画祭」があるにもかかわらず2006年に財政破綻した。ここで先生の言いは、言ひ方に語弊があるが必ずしも、地域ブランドの成功が、自治体(地域)を潤すことにつながらない。「ブランド化すれば地域が潤う」という発想は危険である。「地域が潤うようにブランド化していく」という思考が望ましいと言われたのには納得した。取り組みで、参考になった事例は境港市である。ここにも実は約15もかかっている、先生のまとめの中で食をブランド化をする場合は、市場が大きいものが良い。「鬼太郎」や「カレー」等一点に絞ったことが結果としてメインターゲットの選定につながった、商店街全体がテーマ・パーク化した成功例として、向日市の激辛商店街がある。ここに代表されるように一点に絞りテーマ・パーク化している地域は交流人口が拡大して地域に賑わいがでている。栗山町も地域資源は何か? 無い物ねだりではなく「あるものさがし」になっているのかと考えた。ブランド推進課は、栗山町の特産物を町の営業マンとして実に良くやっている。広報戦略、地域の売り込み

コミュニケーション戦略(販売促進、人的販売、クチコミ等)
など、統合的に取り組んでいると思う。

日 時	平成28年 / 月26日 14 : 00 ~ 16 : 30
視 察 先	博タリフォルニス駅ビル
調査事項	人口減少に立ち向かう戦略
対 応 者	牧瀬頼穂 (一般財団法人地域開発研究所)
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	我が国の人口は、黒船以前は、約3千万人だった その後、現在まで約9千万人伸びて2008年には、 1億2千8百万人をピークに減り続けている。 人口を維持するには、日本の場合、出生率2.07必要だが 1970年を堺にして、出生率2.0を切って2005年には、 1.26まで減ってきたのである。所謂2005年ショックである その後、日本の各自治体が競って、人口社会増。自然増 にするための施策を打ち出すのである。 栗山町も医療費、保育料補助、高校授業料免除、 出産祝い金など施策をうちだした。しかし 原点を忘れてはならない。若い人達に結婚をして もらい、子供を生んでももらわないとならない 2005から2010年まで人口が増えている、東京都、神奈川県 千葉県、滋賀県、愛知県、埼玉県、大阪府、福岡県、沖縄県 9都府県があるが、沖縄県以外出生率が高くない。 所謂社会増である。この間 基礎自治体では。 増えた自治体が25%で、減らした自治体が75%である 今の日本をものかたっている。栗山町も働く場所 を確保(企業が町の規模の割に多い)し、社会減 を防ぐことに全力をあげなければならない

日 時	平成 28 年 / 月 27 日 10 : 00 ~ 12 : 30
視 察 先	博多リファレンス、駅ビル
調査事項	政策づくりのポイントと企画部間の強化
対 応 者	牧瀬 稔 (一般財団法人地域開発研究所)
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背景 ② 特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	私が議員になった時、議員の仕事は、大きく3つあると言われた。1つ目は監視機能、2つ目は住民との利害調整機能、3つ目は政策立案機能である。政策立案機能を高める為の勉強の一環として参加した。栗山町には総合計画があり、総合計画の策定と運用の条例があり、基本構想、基本計画(前期実施計画、後期展望計画)が議会の議決事項であり、具体的な事業がどのように立案されるのか勉強したかった。それは問題を発見し、それを解決するために目標を立て実現するために必要な仕組み仕掛けをつくり上げる能力と捉えている。 松井大阪府知事が「政治家は、政策は語れるも、施策は語れない」と言っていたが、政策→施策→事業に分解され、政治家は細かいことは、わからないと言うことかと思った。政策にしても、施策、事業にしても、デミングサイクル(PDCAサイクル)を回し、数値化を採用して立案することは重要である。自治体の問題を発見する場合、先入観や偏見を捨て、数字を把握して360度から考えることが大事です。そして住民の福祉増進の為という、自治の目的をはずさない事が重要である。

政策決定は、議会が有しているという(先生の言葉)議員の責任の重さを痛感した。